

# 今を未来に

## 【保々小学校コミュニティの活動すすむ】

### 6月8日(木)環境部会 環境整備活動でトイレ掃除

学期に1回の環境部会活動を行っていただきました。あいにく朝方まで雨が降り続いたので、子どもたちが普段使う北校舎・中校舎とプールのトイレ掃除を行っていただきました。13名の保護者の方に参加いただき、私も一緒にトイレ掃除をしました。普段は中学年以上の子どもたちができる限りの清掃活動をしています、強力な洗剤などを使っての清掃はできないので、保護者の方に助けていただきました。学校からも施設改修の要望でトイレの全面改修をお願いしているのですが、「本当に汚れがとれないね。」「こすり取るような掃除道具が必要だね。」「男子トイレの小便器はこんなにも水圧がないの?」と、清掃活動をしながらか出てくる保護者の方の言葉から、いろいろ気づかされるトイレ掃除でもありました。



### 6月13日(火)農業体験部会 1・2年生サツマイモの苗植え体験



今年も保々の自然に親しむ会の方にお世話になって、1・2年生が北勢中央公園の南側の畑で、何から何まで準備していただき、サツマイモの苗植え体験をさせていただきました。去年は、子どもたちが植えた畑の9割近くがイノシシの被害にあい、自然に親しむ会の方が何とかイノシシ被害から守った畑のサツマイモを収穫させていただきました。そのため、今年はこのあと電気柵を設置していただくそうです。また、草が触れるだけでも電気が流れるので、防草マットを周囲にはっていただくそうです。電気柵を設置するために、その講習会もすでに受けて

いただいたそうです。設置費用も市からの半額助成を除く分は、保々の自然に親しむ会の方に負担していただいています。草が少しでも生えていない方が子どもたちが苗を植えやすいからと、この日の朝早くから畑を耕し、畝を作り、苗も植える場所に並べて置いてもらってあるなど、本当に全て準備いただいたのサツマイモの苗植え体験でした。秋に大きく実ったサツマイモのことを思いながら、子どもたちも教えてもらったようにきちんと植えようと、竹べらを使って、上手に植えることができました。

### 6月15日(木)学校運営協議会開かれる

第2回の学校運営協議会を開催してもらいました。議事として、保々小学校の子どものこと、各部会の取組経過や今後の取組計画、情報交換を行いました。子どもたちの様子については、学校だよりでお伝えしてきたことを中心に校長から行いました。各部会の取組は、農業体験部会からは田植え体験とサツマイモの苗植え体験を行ったこと、7月に計画をしている大豆の種蒔き体験のこと、環境部会からは環境整備(トイレ掃除)を行ったこと、図書ボランティア部会からは毎週木曜日に読み聞かせ活動を行っていること、学習支援部会と協力をして夏休みの図書室開放を予定していることが報告・確認されました。また、4年生の総合学習で計画をしている体験学習を地域部会の方が支援していただくことになりました。

情報交換では、地域の子どもの活動、蛍の観察会の時の様子などが話されました。また、毎

日のように朝明川の北側を中心に出ているサルについての情報もいただきました。現在、3つのサルの群れ（内1つは、5頭いた集団のうち4頭捕まえたため、1頭で生きているサルがいて、このサルが一番危険である）があること、地域も駆除のために罠をしかけたり、猟友会にも駆除をお願いしていること、小学校からも要請があったことから市役所にも働きかけていることが確認されました。最近、学校・地域が何もしていないのではないかという声が学校に寄せられていることをお伝えすると、「そんなことはない。」と伝えて欲しいと委員の方からのご意見でした。

なお、6月25日（日）14：00から猟友会の方の指導のもと、花火を使ってサルを遠ざける講習会があるそうです。誰でも参加できるようにと、特別に日曜日に設定していただいたそうです。よければ、保護者の方も参加しませんかと、誘って欲しいとの提案もありました。

## 【PTA活動】

### 6月8日（木）ベルマーク委員会

1年生の保護者の方の協力を受け、PTAベルマーク委員会の方が、昨年度末から集まっていたベルマークを集計していただきました。規定通りに切りなおしたり、種類別に小分けしたり、点数を数えたりしていただきました。点数がたまった時に、子どもたちに必要な物にしてもらうようになります。今のところ2年に1回のペースですが、もっともっと普段から「ベルマーク付いてない？」と意識して、ご協力いただけるとありがたいです。

### 6月9日（金）PTA委員会より

第3回のPTA委員会が行われました。夏のプール開放の実施要項などの確認、救命講習会の確認、夏の除草作業（8月19日）の進め方、9月の運動会への協力依頼と約束事の確認、地区懇談会の進め方（同推委員会学習会含む）、2学期以降の下校パトロールについて等が話し合われました。ここで確認されましたことは、地区懇談会でさらに詳しく地区委員さんから話がありますので、是非地区懇談会にご出席ください。

## 【子どもたちの様子】

### 6月17日（土）土曜授業 防災教室

四日市市の危機管理室から田中和宏さん（危機管理室勤務6年、ここ3年間は危機管理室を代表して名古屋大学の減災連携研究センターで研究をすすめる。以前人權プラザ小牧で6年間勤務され、保々地区のことをよく知ってみえる。）を講師にお招きし、防災（減災）教室を開きました。

防災・減災のことを学ぶ必要性を子どもたちに伝えたいという事から、天気予報で雨が70%と予報されていたらどうする？とまず質問ができました。もちろん、傘を持って出かけるが子どもたちの声でした。しかし、南海トラフの大地震が70%の確率で起こると聞いた時、どうする？と聞かれると、答えに困ってしまうことはないでしょうか。東日本大震災は99%起こると言われていて、あれだけの被害があったそうです。防災（災害を防ぐこと）は難しいですが、減災（災害を減らすこと）はできること、日本の歴史・文化の中にも大震災と繋がっている出来事がたくさんあること（京都の祇園祭はなぜ始まったのか、名古屋城が清州から今の場所になぜ動いたのかなど）、避難所の生活はどうなるのか、減災するために家具などの固定がしてある場合とそうでない場合の違い、水は一人あたり1日に3Lほど必要であることから、4人家族であれば2Lのペットボトルの水が42本程度（1週間分）は備蓄されていなければならない、などたくさんの資料から子どもたちが「自分にもできることがある」という思いを持てるように話をしていただきました。子どもたちからは「地震が起きたら家から逃げようと思う。」「減災、防災のため地域の人と仲良くして、家具の固定をする。」「地震には二つのタイプ（活断層型、プレート型）があるのですか。」「熊本の人の話を聞いたことがあって、同じだなあと思った。」「応急危険度判定の赤い紙はいつごろから貼られていたのですか？」などの、意見、感想、質問が出されたことで、より田中さんの話を自分事として、捉えられたのではないかと感じました。

